

令和6年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会
(第2回) 配付資料

ページ

開催要項----- 1

委員名簿----- 2

【資料】

- ・ 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）
の概要----- 3
- ・ 令和3年度選抜（令和2年度実施）から令和5年度選抜（令和4年度実施）
千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査の総括 ----- 8
- ・ 入学者選抜における調査書の記載事項について----- 10
- ・ 検査（国語の聞き取り検査）について----- 13
- ・ 外国人の特別入学者選抜について----- 17
- ・ 転学・編入学について----- 19
- ・ 入学者選抜の日程について----- 21

令和6年10月4日（金）

ホテルプラザ菜の花 5階「あやめ」

令和6年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第2回）

開 催 要 項

1 日 時 令和6年10月4日（金） 午前10時から正午まで

2 会 場 ホテルプラザ菜の花 5階「あやめ」

千葉市中央区長洲1-8-1

043-222-8271

3 次 第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会挨拶

(3) 委員及び教育委員会関係者紹介

(4) 報告

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）の概要について

(5) 協議

ア 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

イ 令和8年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

ウ その他

(6) 閉会のことば

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会 委員名簿

No.	氏名	職名	備考
1	佐藤 智司	千葉大学 副学長	大学関係者
2	野上 亮	淑徳大学 千葉キャンパス アドミッションセンター 千葉オフィス課長	大学関係者
3	吉野 毅	千葉県商工会議所連合会 専務理事	企業関係者
4	風戸 正 (高梨 祐介)	千葉県立船橋高等学校長 (千葉県高等学校校長会 会長) 千葉県立千葉高等学校長 (千葉県高等学校校長会 副会長)	高等学校校長会 会長
5	武富 恒徳	千葉県立市原八幡高等学校長 (千葉県高等学校校長会 高校入試対策委員長)	高校入試対策委員長
6	榊原 正策	白井市立大山口中学校長 (千葉県中学校長会 会長)	中学校長会 会長
7	丸 庸仁	成田市立成田中学校長 (千葉県中学校長会 進路指導部長)	進路指導部長
8	中田 邦明	東金市立鴫嶺小学校長 (千葉県小学校長会 会長)	小学校校長会 会長
9	佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校長	私立学校代表
10	粕谷 哲也	君津市教育委員会教育長	市教育長
11	富永 安男	鋸南町教育委員会教育長	町村教育長
12	鶴岡 克彦	千葉市教育委員会教育長	政令市教育長
13	榎本 茂	千葉県高等学校PTA連合会 会長	PTA代表
14	木村 得道	千葉県PTA連絡協議会 会長	PTA代表

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）【概要】
（案）

日 時：令和6年7月25日（木）午前10時から正午まで
会 場：千葉県庁 多目的ホール

1 出席委員（敬称略・名簿順）

佐藤 智司、野上 亮、吉野 毅、武富 恒徳、榊原 正策、丸 庸仁、中田 邦明
佐久間 勝彦、粕谷 哲也（会長）、富永 安男（副会長）、榎本 茂

2 次第

（1）開会のことば

（2）県教育委員会挨拶

（3）委員紹介

（4）会長、副会長選出

（5）報告

ア 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

（ア）結果について

（イ）調査書の評定について

（ウ）中学校及び高等学校からの意見について

イ 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

（ア）入試日程について

（イ）令和7年度千葉県県立高等学校第1学年入学者選抜要項について（別添付資料）

ウ その他

（6）協議

ア 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

イ 令和8年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

ウ その他

（7）閉会のことば

3 報告に対する意見・要望等

（1）令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

- ・ウェブ発表でミライコンパスを活用して学校からも確認できるのは好評だった。
- ・インターネット出願やウェブ発表について、インターネット環境がない家庭には中学校でフォローした。
- ・合格発表時において高校を回ったが、ウェブ発表で変わったという点を実感できなかった高校もあった。合格者用の資料が少ないのであればホームページへの掲載で十分ではないか。実情に応じてということであったが、高校によっては変更しなか

ったのではないかと感じる。

- ・事務室関係書類（学校徴収金などの口座依頼書）によっては、紙媒体を出さなければならない。口座登録などの方法について検討が必要。地域の実情によっては金融機関が限られてしまうことが懸念点である。

(2) 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

- ・入学者選抜要項でインターネット出願について触れられていないことは、周知の点で問題が大きいのではないかと感じる。志望変更についてもインターネット出願で行うので、書かれていなければいけない。

4 協議内容

(1) 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

【事務局説明概要】

○調査書について

- ・昨年度の協議会では、他県の情報を集めつつ、今後検討していくとした。
- ・公立高等学校へ実施したアンケート調査の結果についての説明。
- ・調査書の項目等について、文科省より真に必要な事項に精選するよう通知が来ている。

○検査（国語の聞き取り検査）に関すること

- ・国語の聞き取り検査は、平成20年度選抜から導入。
- ・中学校の学習指導要領が平成29年度に改訂され、目標は3つの柱で再整理された。
- ・昨年度の本協議会でも、国語の聞き取り検査については、見直してもよいのではという御意見をいただいた。
- ・受検者の解答時間が少なくなっている点を踏まえ、国語の聞き取り検査の見直しが必要ではないか。

○外国人の特別入学者選抜について

- ・現在、全日制の課程12校と全ての定時制の課程16校において実施している外国人の特別入学者選抜の実施校数を増やすことについて意見をいただきたい。

○転学・編入学について

- ・千葉県の転学試験の応募資格について意見をいただきたい。

【調査書について】

- ・高校側としては、学力検査のみではなく、各中学校でどれだけ一生懸命生活していたのか、努力の成果や活動経験を見取っている。調査書に多くの項目があっても無駄ではないというのが率直な意見である。
- ・中学校校長会では、行動の記録、総合所見を削除していただきたいと要望している。高等学校が必要とする情報は記載しなければならないという認識でいる。しかしながら、総合所見は学級担任個々の表現力で書かれ、表現力の差違や担任の主観も入っている。総合所見を数値化し、合否の判定に用いることはできないのではないかと感じる。

アンケート調査で「活用なし」と回答している高校が一番多いことを考えると、必要としない方向にしてもらいたい。生徒個々の非常にナイーブな個人情報でもある。入学決定後、指導要録の写しや抄本を中学校から高校には送付することから、総合所見が入試で必要な情報であるかは慎重に検討していただきたい。

- ・総合所見の文章の作成力的なところで判定基準にされるのは、中学校側にとっては心配である。
- ・私立はそれぞれの高校が決める問題である。調査書は公立の基準に従っている高校がほとんどではないか。
- ・多様性の時代なので、スポーツができる、基本的な生活習慣ができてい、勉強ができるなど、生徒それぞれのいいところを評価している。
- ・総合的な学習の時間の記録を削除すると、中学生が総合的な学習の時間をどのように受け止めていくのが懸念される。

【聞き取り検査について】

- ・聞き取り検査を実施している他都道府県やその出題方針がわかれば教えていただきたい。
- ・これまでも学習指導要領が変わったタイミングで入学者選抜の内容について検討が必要であったと思うが、国語に限らず、入学者選抜の問題で学習指導要領の意図に沿った見直しが必要となってくるのではないか。
- ・話す・聞くは大切であるが、会話文で聞くことに関する設問を作ることもできる。本当の意味で聞く力を見取るのであれば、聞き取り検査でなくてもよいのではないか。
- ・聞き取り検査について、10分程度で配点8点というのは気になる点である。
- ・小学校では、読み聞かせに始まり、聞き取る力を育てている。読み取る力が弱い児童でも、耳からの情報によって解答できる児童もいる。いろいろな子供がいることを前提にすると、聞き取り検査を残すことも大事ではないか。
- ・英語ではリスニングを行っている。国語で聞き取り検査を不要とするのであれば、英語のリスニングは必要、国語の聞き取りは不要とする、それぞれの理由を説明してもらいたい。

【外国人の特別入学者選抜について】

- ・外国人の受け入れについて、高校がどれだけ手を上げるかが不明だが、人数が増えたら枠を増やし、減ったら減らすという需要と供給の関係での解決とするべきではないか。
- ・入学後の支援体制の問題もあるので、どこまで増やすかは検討が必要ではないか。
- ・外国人の特別入学者選抜は、面接・作文だけであり、学力を測ることなく入学できるものなのか。
- ・外国人の特別入学者選抜は拡大していけばいいと感じている。日本語や英語が分か

- らない生徒には、学習指導課で予算化され、整備されたポケトーク及び学校が購入したものを活用して対応している。定期考査ではルビを振ったりして対応している。
- ・公立中学校では、帰国生徒や外国人生徒の編入学が増えている。言語も様々である。日本における外国人の割合も今後増えていき、外国人生徒も日本の社会の構成員となっていくことが考えられる。日本の子供たちと同じような教育を受けさせることが必要ではないか。市町村教委において小中学校で受け入れ、言語や生活に慣れさせていく教育をしているところである。言語の課題など乗り越えるべきハードルはあると思うが、高校にも外国人生徒が学べる環境が広がってほしい。
 - ・教育現場でしっかりと教育することで、日本社会に適応し、ビジネスや社会に繋がっていく。高校入試は、実情に合わせて、面接・作文などのフレキシブルな対応をしていくことは必要だろう。

【転学・編入学について】

- ・転編入について実績値はどうなっているか。また、千葉県にはどれだけの中途退学者がいて、転学でどのくらい防げそうか。予測的な数値を教えてください。
- ・他都県の状況、実績も併せていただきたい。
- ・私立高校ごとに、進路変更という形で対応している。通信制に転学する生徒が、特に1年生で多い。私立の転学状況について情報提供できるか検討する。
- ・県立学校では、年3回転入学試験を行っている。今後、理由を問わない転学を含めて、年間随時受け付ける学校を設けるなどの拡大について検討も必要になってくるのではないだろうか。
- ・転学は都市部に多いのではないか。試験の実績について情報をいただきたい。応募資格は多様性の時代に合わせてほしい。

(2) 令和8年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

【事務局説明概要】

○令和8年度入学者選抜における日程について提示

- ・昨年度までのように3案程度を示してそれについて御意見をいただくのではなく、2月の第3回目の火曜日、水曜日に曜日固定した日程の素案をお示しして、協議会で御意見をいただきたい。
- ・令和10年度選抜は、検査が2月15、16日と早まっている。
- ・令和11年度選抜は合格発表が3月6日となっているなど、例外もある。
- ・曜日固定の考えで全てを満たす日程とするのは難しい。状況に合わせて調整していくことが現実的であると考えている。
- ・毎年、曜日固定の素案を出した上で、「日程決定の確認事項」に照らして調整していく方法について御意見いただきたい。

- ・採点のため、検査翌日は休業日にすればいいのではないかと。
- ・教員があいている時間に採点をすることで、ペアが異なるようなことが起こりうるから、採点ミスが起こるのではないかと。
- ・この3年間実施した、新入生や新入生保護者へのアンケート調査をどのような理由でやめたのか、結果から分かったことを知りたい。総括をすべきである。
- ・提示された案では、検査日について、基本的に2月下旬としているのにもかかわらず、2月中旬に設定されているのはいかがなものか。
- ・私立の入学試験が早いことが原因で公立高校への入学者が減っているのではなく、学びたい学校を選ぶという観点で、公立高校から目を背けている生徒もいる。
- ・火曜日水曜日固定で、千葉県の公立高校の入試をブランド化できている。日程について、先が見通せることはいいことだと感じる。
- ・各高等学校では、採点処理日というものを設定しているところが多く、授業と並行するのではなく集中して採点する高校がほとんどである。しかしながら、ミスがあったことは真摯に受け止めなければならない。
- ・入学者選抜までの必要な日数はある程度かかってしまうのは致し方ないことではないだろうか。
- ・完全固定ではない、状況に応じた対応は必要となってくるだろう。

(ウ) その他

- ・各高等学校では、スクール・ポリシーを前面に打ち出すようにしている。各学校が求める人材を選抜できるよう、学力検査の内容について各学校で柔軟に決めることができるような改善を検討してもらいたい。例えば、学力検査において、5教科の検査を英語・数学の2教科受検とするなど、各学校が選択できるようにしてはどうか。
- ・学校設定検査に思考力を問う問題があるが、基礎力を問う問題を新設してはどうか。
- ・インターネット出願については、紙の願書でできなかった機能もつけてほしい。

令和3年度選抜（令和2年度実施）から令和5年度選抜（令和4年度実施）
千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査の総括

1 調査対象

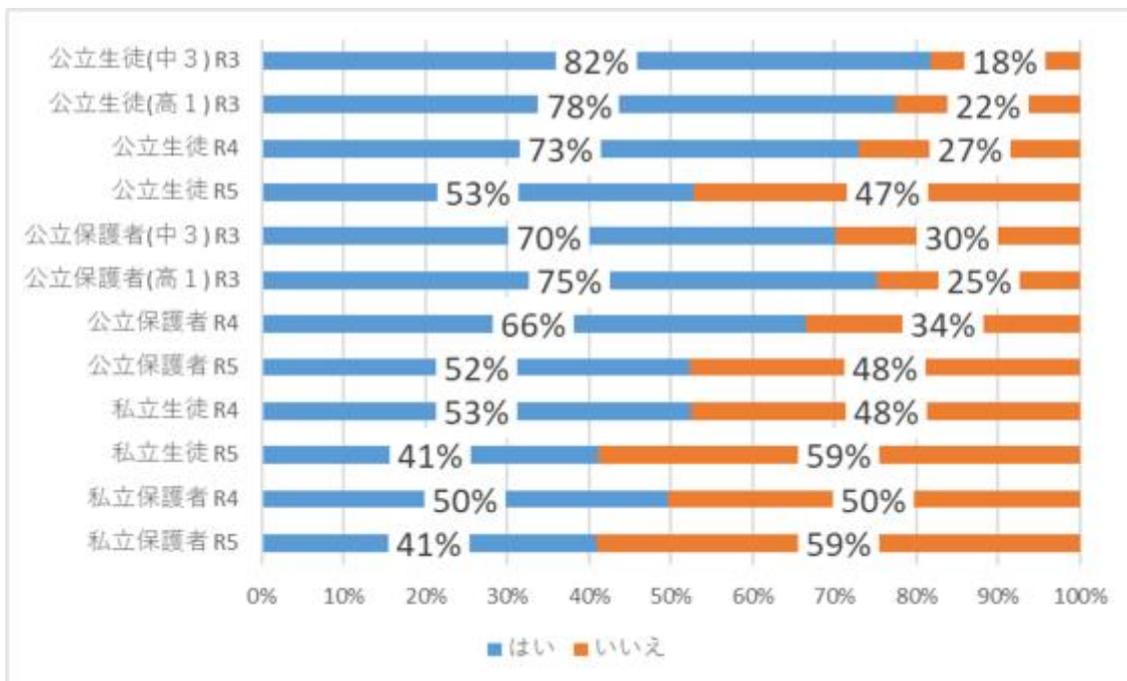
（回答した人数/依頼した人数）

	令和3年度選抜	令和4年度選抜	令和5年度選抜
公立中学校長	295/311	272/365	276/365
公立中学校3年生	744/933		
公立中学校3年生保護者	742/933		
公立高等学校長	126/128	128/128	128/128
公立高校1年生	3,616/4,690	3,790/4,975	3,953/5,239
公立高校1年生保護者	2,324/4,692	2,622/4,974	2,652/5,100
私立高等学校長		49/54	38/54
私立高校1年生		1,405/3,080	1,787/1,992
私立高校1年生保護者		1,105/3,089	1,090/1,835

2 アンケート結果から抜粋

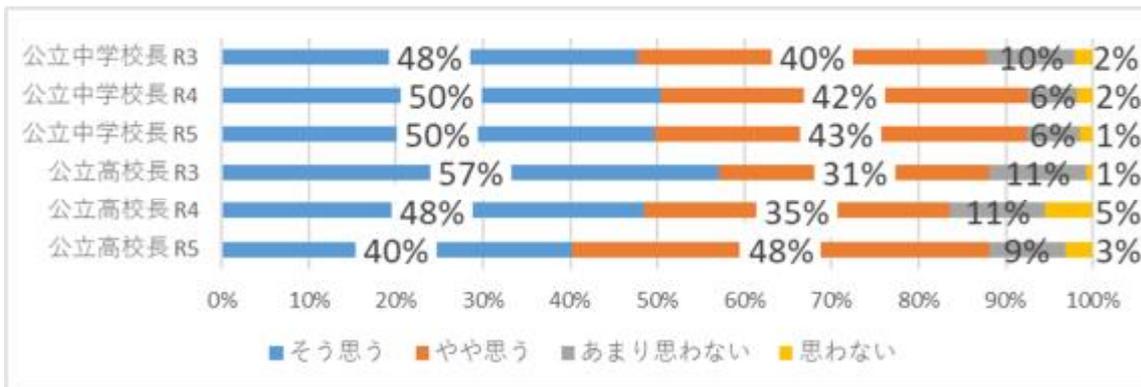
(1) 令和3年度入学者選抜から公立高校の入試制度が変わったことについて、不安はありましたか。

生徒・保護者共に、入試制度の変更に関し不安を抱えていたことがわかる。ただし、年度を重ねるごとに、不安が解消されている。



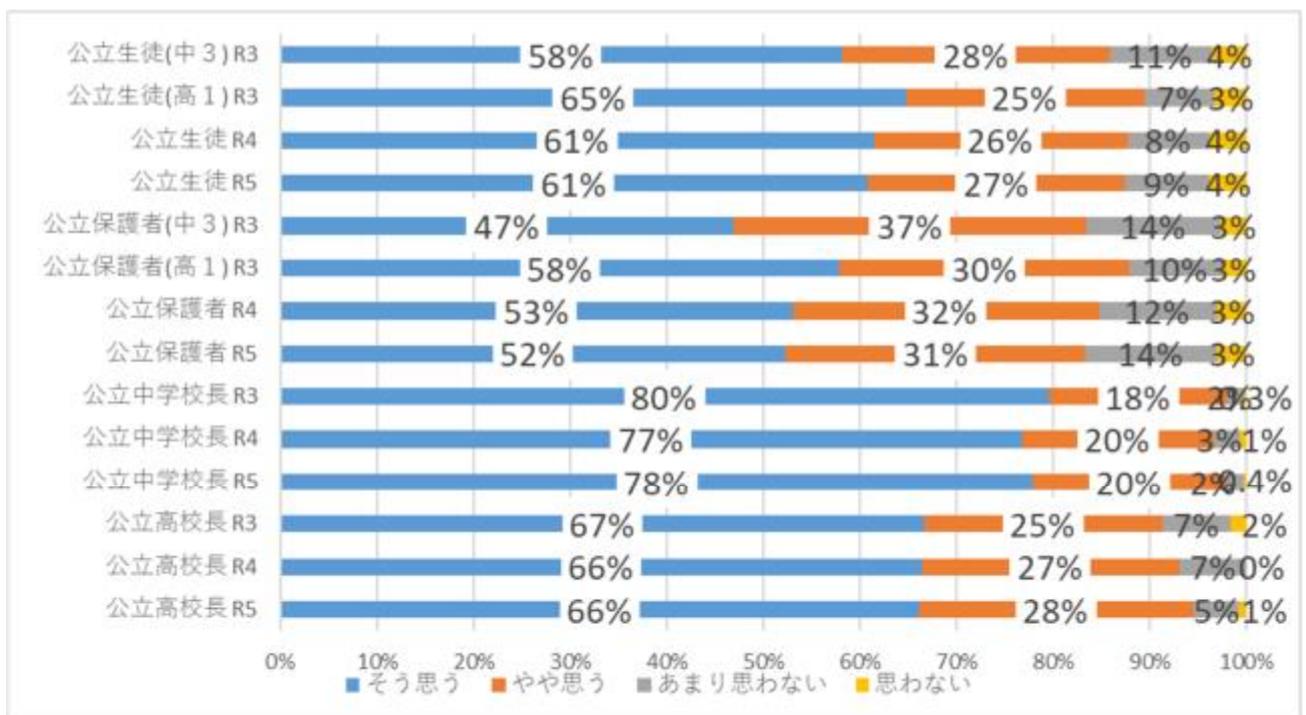
(2) 入試を一本化したことで教職員の入試業務の負担が減少したと思いますか。

中学校、高校ともに、肯定的な回答が8割以上となっている。



(3) 本検査の5教科を2日間で実施したことは、受検者の負担を考えると適切であったと思いますか。

生徒、保護者、校長共に、肯定的回答が8割以上となっている。



令和3年度選抜（令和2年度実施）から入学者選抜を一本化したことについて、3年間のアンケート結果からは、生徒等の不安が解消してきており、中学校、高等学校の教職員及び受検者の負担が軽減していることから、新しい入学者選抜については広く受け入れられたものと考え、検証を終えるものとする。

入学者選抜における調査書の記載事項について

1 他県（調査書を変更した県）の状況について

広島県	＊入学者選抜制度の変更 ・受検者全員に自己表現を導入 ・学力検査：調査書：自己表現＝6：2：2 ・調査書の改善 (1)簡素化→学習の記録（評定）のみ (2)学年間に比重→第1学年：第2学年：第3学年＝1：1：3			
	公表	令和元年12月	実施	令和5年度選抜（令和4年度実施）
埼玉県	＊入学者選抜制度の変更 ・受検者全員が自己評価資料を提出＋全員に面接を導入 ・調査書の簡素化			
	公表	令和6年1月	実施	令和9年度選抜（令和8年度実施）
長野県	＊入学者選抜制度の変更 ・前期選抜に学力検査を導入 ・後期選抜に面接を導入 ・「対面による面接」又は「紙上面接」 ・調査書の改正：「出欠・健康の記録」を削除 <div style="text-align: right;">（公表）令和6年3月26日</div>			
	公表	令和4年9月	実施	令和7年度選抜（令和6年度実施）
岐阜県	・調査書から、「出欠の記録」、「総合的な学習の時間の記録」を削除			
	公表	令和6年6月	実施	令和7年度選抜（令和6年度実施）

2 市町村教育委員会アンケートまとめ

調査書の項目が減る場合、システム等の改修費用が発生しますか。

（調査対象：54市町村）

発生しない 50	◀ 発生する 4	<p>【主な質問・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学校教員の負担減となるような改訂にしてほしい。 ● 調査書の記載内容確認書については、改修費発生の可能性あり。 ● 調査書の項目削減は、早急に検討・実施してほしい。 ● 大幅な修正の場合は、費用発生の可能性あり。 ● 改訂後の調査書の形式を示したうえで、再調査してほしい。 ● 1年前の発表であれば、システムの対応は可能である。
--------------------	--------------------	--

現様式

様式1 (A4判縦長)

調 査 書

受検番号	ふりがな		性別	学籍の記録	平成・令和 年 月 入学・転入学・編入学						
*	氏名				平成・令和 年 月 卒業見込み・卒業						
教科 学年 教科の学習の記録	必修教科の評定										
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	合計	
	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
	全学年の計										
備考											
総合的な学習の時間の記録	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
出欠の記録	学年	欠席日数	欠席の主な理由等								
	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
行動の記録 (第3学年)	基本的な生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	創意工夫						
	思いやり・協力	生命尊重・自然愛護	勤労・奉仕	公正・公平	公共心・公德心						
特別活動の記録	学級活動										
	生徒会活動										
	学校行事										
部活動の記録											
特記事項											
総合所見											
<p>本書の記載事項に誤りがないこと及び貴校に応募する資格があることを証明する。</p> <p style="text-align: right;">中学校長 印</p> <p>令和 年 月 日 記載責任者 職 氏名</p>											

改良（案）

様式1（A4判縦長）

調 査 書

受検番号 *	ふりがな 氏名		性別	学籍 の 記録	平成・令和 年 月 入学・転入学・編入学	平成・令和 年 月 卒業見込み・卒業					
教科の学習の記録	教科	必修教科の評定									
	学年	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語	合 計
	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
	全学年の計										
備考											
特別活動の記録	学級活動										
	生徒会活動										
	学校行事										
部活動の記録											
特記事項											
<p>本書の記載事項に誤りがないこと及び貴校に応募する資格があることを証明する。</p> <p style="text-align: right;">中学校長 印</p> <p>令和 年 月 日 記載責任者 職 氏名</p>											

検査（国語の聞き取り検査）について

1 実施県（青森県・秋田県）の状況

<青森県>

「令和6年度 青森県立高等学校入学者選抜学力検査の結果」から抜粋

- ・検査時間は、国語と英語が50分、数学、社会、理科が45分。国語の平均点64.8点
- ・1の放送による検査は、代表者会議の話し合いを資料を見ながら聞き、内容について捉える力、聞き取った内容をもとに、条件に即して適切に表現する力をみる問題である。（中略）話の展開に注意して、要点を整理しながら聞き取る力を伸ばしていくことが重要である。

問題番号	配点	問題の内容	正答率 (%)
1	(1)	4 放送料を見ながら、話の内容と資料との関連を考えて聞き取る。	70.6
	(2)	4 話の内容を的確に聞き取る。	65.3
	(3)	4 話の全体と部分との関係に注意して聞き取る。	82.5
	(4)	4 発言を注意して聞き、自分の考えをまとめる。	65.4
合計			65.4

<秋田県>

- ・(R7 秋田県出題方針) 各教科の検査時間は、国語、数学、外国語（英語）は各60分、社会、理科は各50分とする。なお、国語の「聞くこと」に関する検査及び英語のリスニングテストは、当該教科の検査開始と同時に10分間程度行う。また、数学では学校による問題選択制を一部取り入れる

「令和6年度 秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査の抽出調査〈分析と提言〉」から抜粋
3 現状の分析

平均点は67.8点と昨年を4.6点上回った。（中略）

- ①「聞くこと」に関する検査では、発言の要点を整理したり、進行の仕方の特徴を捉えたりしながら、聞き取った内容を記述することができていた。

1 小問別の完全正答率と得点率

大問	小問	内 容	完全正答率 (%)	得点率 (%)										
				0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
1	1	話し合いの内容を正確に聞き取る	81.8											
	2	キャッチコピーを選ぶ	95.0											
	3	話し合いの内容を正確に聞き取る	52.4											
	4	話し合いの様子から、進行の仕方を考える	89.2											

2 令和6年度選抜（千葉県）の結果等

(1) 正答率の概況

「令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要」から抜粋

(4) 問題の内容

問	問題の内容	問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)
		選択	短答	記述		
(1)	放送による聞き取り	○			83.0	0.0
(2)		○			80.2	0.1
(3)	自分が驚いた体験 について話す場面	○			94.3	0.1
(4)		○			74.5	0.3

(2) 課題等

- 検査時間50分に対して、聞き取り検査が10分程度、配点8点。
- 正答率は平均83%で、多数の受検者が正解している。
- 千葉県以外で実施しているのは、青森県と秋田県のみ。

上記の課題等を踏まえ、「話すこと・聞くこと」については、「聞き取り検査」以外の会話文等で問う形式(全国学力・学習状況調査と同様)に移行することを検討する。

3 学習指導要領等の資料

○中学校学習指導要領解説 国語編 ～ 一部抜粋 ～

国語科の目標

- ・ 言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

[思考力、判断力、表現力等] の内容 A 話すこと・聞くこと

- ・ 「A 話すこと・聞くこと」の学習は、話し手と聞き手との関わりの下で成立する学習であるため、「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」の各指導事項は相互に密接な関連がある。
- ・ 話し合いは、話すことと聞くこととが交互に行われる言語活動
- ・ 「話すこと」に関する指導事項と「聞くこと」に関する指導事項との関連を図ることが重要

(考察)

国語科の目標にある資質・能力は、言語活動（「話す」「聞く」）を通じて育成されることから、一方的に聞き取る検査に代えて、話し合いの会話文等「話す」と「聞く」の関連を図った問題を出すことは妥当だと考える。

○全国学力・学習状況調査において国語の聞き取り調査は実施していない

(参考)

令和6年度 全国学力学習状況調査 国語解説資料 から

I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

2 (1) 学習指導要領の内容と評価の観点について

- ※ 「A 話すこと・聞くこと」については、生徒が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などの工夫をして、話す・聞く活動にできるだけ近づけた出題となるようにした。

○中学校学習指導要領解説 外国語編 ～ 一部抜粋 ～

(1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどを理解するとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

○大学入試のあり方に関する検討会議 提言

第3章 総合的な英語力の育成・評価の在り方

資格・検定試験の活用の実態や大学の意見を勘案し、諸課題の克服の困難性を考えると、各大学の個別試験や総合型・学校推薦型選抜で「読む」「書く」「聞く」「話す」の総合的な英語力評価を推進

○共通テスト:「英語」(リスニングを含む)は引き続き実施、出題内容の改善を図る。

○資格・検定試験の活用

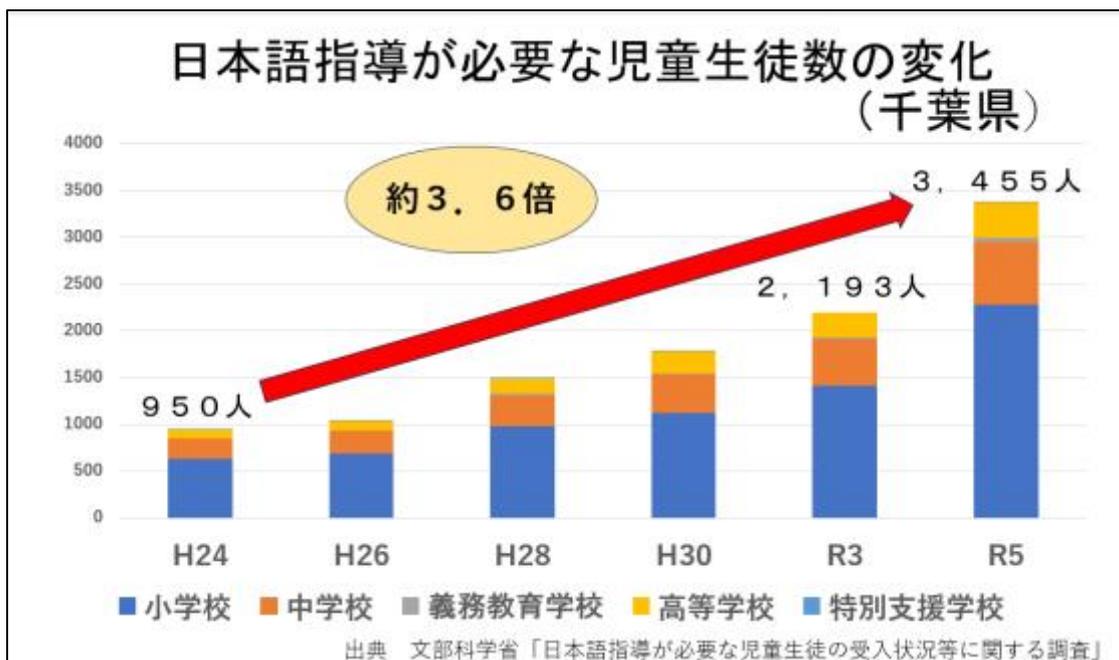
(参考) ～大学入試のあり方に関する検討会議 資料抜粋～

(大学の教育研究における総合的な英語力の必要性)

我が国の大学入学者選抜で最も課されている教科は英語である。例えば、令和2年度大学入試センター試験の受験者に占める「英語」を受験した者の割合は筆記が98.4%、リスニングが97.2%であり、同試験を利用した選抜区分のうち95.7%で英語が必須又は選択科目で課されていた。また、各大学の個別選抜においても89.0%の選抜区分において英語が必須科目又は選択科目で課されている。こうしたことを踏まえれば、大多数の大学・学部は「一定程度の英語力が入学後の学修・卒業に必要」と判断していると考えられる。

外国人の特別入学者選抜について

1 日本語指導が必要な児童生徒数（千葉県）



2 改善の方向

(1) 予定人員

現在（県立高等学校）

- ・令和7年度選抜（令和6年度実施）は、26校29学科で実施。
- ・予定人員は合計169名（ただし、47名は海外帰国生徒も含める。）

（全日制）県立10校・市立2校（定時制）県立16校



(案1) 現在の実施校で予定人員を増やす	◎すでに組織対応の実績あり ▲職員の負担が増加 懸案：何人まで増やせばよいか。
(案2) 実施校を増やす	◎外国人数など地域の実情を反映 ▲支援員等の不足、職員の負担が増加 懸案：どの学校を実施校とするか。
(案3) 全校に拡大する	◎外国人生徒の選択肢が増える ▲支援員等の不足 懸案：募集定員の設定（内枠、外枠）

(2) 選抜方法

現在
・ 作文、面接（日本語又は英語による） ・ 本検査 1 日目のみ



(案 1) 【変更なし】 作文、面接	・ 英語が通じない生徒に不利
(案 2) 学校設定検査から 2 つ（面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査）。ただし、面接は必須とする。	・ 本検査 2 日目のみ
(案 3) 【海外帰国生徒と同様】 3 教科の学力検査（国・数・英）と 学校設定検査	・ 本検査 1 日目、2 日目

3 他県の状況

東京都	茨城県	広島県
<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 校で特別選抜を実施し、146 人入学 ・ 検査は、作文及び面接 ・ 一般入試より前の日程で実施。不合格者は一般入試にも出願可。 ・ 一般入試は、ルビ振り・辞書持ち込み・時間延長が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立の全校の全日制及び定時制 92 校（募集人員 2 人以上/校）で特別選抜を実施、73 人入学 ・ 検査は、国、数、英、面接 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立の全日製の課程、全校 84 校（定員外で各校 2 人以上）で特別選抜を実施、14 人入学 ・ 検査は、国、数、英、自己表現及び面接等

「令和 5 年度高等学校入学者選抜の改善等に関する状況調査（公立高等学校）」から抜粋

転学・編入学について

1 千葉県の状況

(1) 中途退学者数等の状況（県内全公立高等学校）

（「令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」から抜粋」）

表1 中途退学者数

	中途退学者総数
全日制	665
定時制	176
通信制	18
合計	859

表2 中途退学の理由別割合

		全・定・通の合計	割合(%)
学業不振		73	8.5
学校生活・学業不適應		484	56.3
進 路 変 更	別の高校への入学を希望	68	7.9
	専修・各種学校への入学を希望	3	0.3
	就職を希望	54	6.3
	高卒程度認定試験受験を希望	29	3.4
	その他	72	8.4
病気が死亡		25	2.9
経済的理由		3	0.3
家庭の事情		24	2.8
問題行動等		15	1.7
その他の理由		9	1.0
合計		859	100

注) 資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、
合計と合わない場合がある。

2 東京都の状況

令和5年度 都立高等学校転学・編入学 実施結果（ホームページから抜粋）

(人)

	一学期（第2学年以上）				二学期				三学期				合計	
	区分1（転入）		区分2（一般）		区分1（転入）		区分2（一般）		区分1（転入）		区分2（一般）			
	受検	合格	受検	合格	受検	合格	受検	合格	受検	合格	受検	合格	受検	合格
全日制	19	11	85	43	4	4	246	102	0	0	88	35	442	195
定時制	-	-	284	204	-	-	203	157	-	-	148	118	635	479
通信制	-	-	-	-	-	-	180	115	-	-	31	15	211	130
													1,288	804

- ・ 応募資格：応募資格は、都内に住所を有すること。区分1は転勤等による都外からの一家転住者、区分2は一般（a 高等学校等の在籍者かつb 保護者と同居している者）。
 - ・ 第1学年の第2学期…在籍している課程・学科とは異なる課程・異なる学科への出願が可能。
 - ・ 第1学年の第3学期以降…原則、在籍している課程・学科と同じ課程・同じ学科への出願が可能。

3 千葉県の転学の要件拡大

(案)：保護者の転勤又は転居によって在籍校への通学が困難になる場合やいじめ等緊急的な配慮が必要な場合、在籍校で教育を受けることが困難な場合（登校し辛い状況*）、転学試験の受験を認める。試験日については、第1学年の年3回の決められた日に限る。

※登校し辛い状況とは、

- ・友人間のトラブル
- ・部活動でのトラブル
- ・経済的な理由
- ・健康上の理由

(案1) 入学者選抜において定員を満たしていない学校（全日制・定時制）
(案2) 定時制の課程
(案3) 三部制の定時制の課程＋地域連携アクティブスクール（全日制）

令和8年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程について(案)

		令和8年度																														
1月	1	木		3月	1	日																										
	2	金			2	月																										
	3	土			3	火	発表 午後1時から志願者登録及び納付																									
	4	日			4	水	【インター ネット出願 2次受付 志願者登録 及び検査料 の納付																									
	5	月			5	木																										
	6	火			6	金	2次受付 志願者登録 及び検査料 の納付																									
	7	水			7	土																										
	8	木			8	日																										
	9	金			9	月	2次志願変更																									
	10	土			10	火																										
	11	日			11	水	2次検査																									
	12	月			12	木																										
	13	火			13	金	2次発表																									
	14	水	↑		14	土																										
	15	木	【インター ネット出願】		15	日																										
	16	金	志願者登録 及び検査料 の納付		16	月																										
	17	土			17	火																										
	18	日			18	水																										
	19	月			19	木																										
	20	火			20	金	春分の日																									
	21	水			21	土																										
	22	木			22	日																										
	23	金			23	月																										
	24	土			24	火	終業式																									
	25	日			25	水	追加募集																									
	26	月			26	木	追加募集																									
	27	火			27	金																										
	28	水			28	土																										
	29	木			29	日																										
	30	金			30	月																										
	31	土			31	火																										
2月	1	日																														
	2	月																														
	3	火	出願受付																													
	4	水	出願受付																													
	5	木	出願受付																													
	6	金																														
	7	土																														
	8	日																														
	9	月																														
	10	火	志願・希望変更																													
	11	水	建国記念の日																													
	12	木	志願・希望変更																													
	13	金																														
	14	土																														
	15	日																														
	16	月																														
	17	火	本検査																													
	18	水	本検査																													
	19	木																														
	20	金	追検査受付																													
	21	土																														
	22	日																														
	23	月	天皇誕生日																													
	24	火	追検査受付																													
	25	水																														
	26	木	追検査																													
	27	金																														
	28	土																														

		令和7年度(参考)																														
1月	1	水		3月	1	土																										
	2	木			2	日																										
	3	金			3	月																										
	4	土			4	火	発表 午後1時から志願者登録及び納付																									
	5	日			5	水	【インター ネット出願 2次受付 志願者登録 及び検査料 の納付																									
	6	月			6	木																										
	7	火			7	金	2次受付 志願者登録 及び検査料 の納付																									
	8	水			8	土																										
	9	木			9	日																										
	10	金			10	月	2次志願変更																									
	11	土			11	火																										
	12	日			12	水	2次検査																									
	13	月			13	木																										
	14	火			14	金	2次発表																									
	15	水	↑		15	土																										
	16	木	【インター ネット出願】		16	日																										
	17	金	志願者登録 及び検査料 の納付		17	月																										
	18	土			18	火																										
	19	日			19	水																										
	20	月			20	木	春分の日																									
	21	火			21	金																										
	22	水			22	土																										
	23	木			23	日																										
	24	金			24	月	終業式																									
	25	土			25	火																										
	26	日			26	水	追加募集																									
	27	月			27	木	追加募集																									
	28	火			28	金																										
	29	水			29	土																										
	30	木			30	日																										
	31	金			31	月																										
2月	1	土																														
	2	日																														
	3	月																														
	4	火	出願受付																													
	5	水	出願受付																													
	6	木	出願受付																													
	7	金																														
	8	土																														
	9	日																														
	10	月																														
	11	火	建国記念の日																													
	12	水	志願・希望変更																													
	13	木	志願・希望変更																													
	14	金																														
	15	土																														
	16	日																														
	17	月																														
	18	火	本検査																													
	19	水	本検査																													
	20	木																														
	21	金	追検査受付																													
	22	土																														
	23	日																														
	24	月	天皇誕生日																													
	25	火	追検査受付																													
	26	水																														
	27	木	追検査																													
	28	金																														